

# ウィーン・フィルメンバーによる ウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団 講演会 & コンサート

ウィーン・フィルによる講演会 (英語:通訳あり) 入場無料・申込不要・先着150名

日時: 2009年10月17日(土) 開場14:00 開演14:30~16:30

場所: 太刀川記念館 3階(立教大学池袋キャンパス内)

対象: 学生・教職員、校友、保護者、一般 ※満席の場合、入場を制限させていただく場合がございます。

## Program

モーツァルト: セレナーデ 第13番「アイネクライネナハトムジーク」K. 525

ドヴォルザーク 弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調「アメリカ」より第2楽章

モーツァルト: パパゲーノのアリア「オペラ、魔笛」より

ヨハン・シュトラウスII世: 春の声 作品410

ヨハン・シュトラウス: カチューシャ・ギャロップ

フォーレ: 夢のあとに

シューマン: 子供の情景より「トロイメライ」 作品15

マリアノ・モレス: ブエノス・アイレスの喫茶店(アルゼンチン・タンゴ)

カルロス・ガルデル: 首の差で(アルゼンチン・タンゴ)

日本の歌メドレー(琵琶湖周航の唄、花、荒城の月)

写真家: 井出恒雄



# Wien Seifert Quartet

## ウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団

1996年度モーツァルト解釈賞受賞団体

1972年ウィーン・フィルの第一ヴァイオリニストであるギュンター、エックハルトのザイフェルト兄弟とヴィオラのクドラック、チェロのフォッグによって活動を開始する。ウィーン・ムジークフェライン弦楽四重奏団及びウィーン・シュトラヒ弦楽四重奏団と共にウィーン・フィルのベスト・スリーに挙げられる弦楽四重奏団である。その長年の優れた演奏活動に対してウィーン・モーツァルト財団より『1996年度モーツァルト解釈賞』を授与される。2004年同団リーダー、ギュンター・ザイフェルトの希望により3人のウィーン・フィル若手メンバーの参加をえて、更に活発な音楽活動を行い、その輝かしい歴史に新たな楽章を加えることとなった。以来、オーストリア国内で活発に活動を続け、2005年及び2007年の日本公演でも4週間余にわたるコンサート・ツアーを成功裡に終えた。

### ■ギュンター・ザイフェルト *Günter Seifert* ヴァイオリン

1948年北オーストリアの美しい山村ヴァイヤーに生まれる。奨学金を得て1962年より1969年までザルツブルクのモーツァルテウムにて勉学、1969年より1974年までウィーン音楽大学にてサモフィル教授に師事する。1972年より第一ヴァイオリン奏者としてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団団員となる。1972年盟友クドラックらと共にウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団を設立し、リーダーを務める。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団団員としての活動はもとより、ソリスト・室内楽の演奏者として欧米・日本での公演多数。2000年1月のザルツブルク・モーツァルトウィークでは巨匠アンドレ・プレヴィンやライナー・キュッヒルらとの共演も行うかたわら室内合奏団「コロソ」のコンサート・マスターとしても活躍している。

### ■ハラルド・クリュンペック *Harald Krumpöck* ヴァイオリン

1968年ウィーンに生まれる。故郷のキルシュラグにて6歳の時初めてヴァイオリンのレッスンを受ける。1984年よりウィーン音楽大学にてミカエル・シュニツラーやゲアハルト・ヘッツェルとともに学び、1991年よりアルフレッド・スター教授に師事する。一方、国際ユース・コンクールの賞としてアメリカ、グリーンボローの「イースタン音楽祭」の奨学金を得、そこでジェラルド・プレやジョセフ・ジンゴールドらと学ぶ。1994年国際ブラームス・コンクールにてISONピアノ三重奏団で優勝。1987年にグスタフ・マーラー・ユース管弦楽団のコンサート・マスター、1993年ウィーン国立歌劇場管弦楽団団員、1996年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団員となる。またウィーン・フィルハーモニア五重奏団、アンサンブル・コントラプント、ゲーデ・トリオなどいくつかの室内楽団と演奏を行っている。

### ■ミカエル・ストラッサー *Michael Strasser* ヴィオラ

1980年上オーストリアのグリースキルヘンに生まれる。リンツにてアルベルト・フィッシャーおよびボリス・クシュニールの両教授に師事しヴァイオリンを学ぶ。その後ウィーン音楽アカデミーでペーター・オクセンホッフアー教授にヴィオラを学ぶ。1993年と1998年には国際ヴァイオリン・コンテストで優勝し、2001年にはオーストリアでの国際室内楽コンクールで優勝する。2003年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団員となる。

### ■エックハート・シュヴァルツ・シュルツ *Eckhart Schwarz-Schulz* チェロ

1972年ミュンヘンに生まれる。ウィーン音楽アカデミーおよびフランクフルトにてウォルフガング・ヘルツァー教授、アントニオ・メネセス教授に師事する。いくつかの賞を受賞後ダブリンのアイルランド国立管弦楽団の首席チェリストとなる。ソリストとしても同楽団とともにミヨー、ブラームス、ウェーバー、アイレスなどを演奏する。さらにハイバーニアン管弦楽団とドヴォルザークを、ダブリン・バロック・プレイヤーズとハイドンを演奏。ロンドン・フィルハーモニア管弦楽団、マンチェスター・ハレ管弦楽団からゲスト・リーダーとして招かれる。BBC放送、アイルランドテレビ、オーストリア放送協会などのラジオ、テレビ出演、CD録音等で絶賛される。アイリッシュ・フィルム管弦楽団の首席チェロ奏者としてはU2、ザ・コアーズ、ヴァン・モリソン等との録音も行う。2004年9月よりウィーン国立歌劇場管弦楽団団員となる。